平成２９年度　全国中学校体育大会

第３９回　全国中学校軟式野球大会　出場校紹介

東　海 ブロック 第１位	ふりがな 学校名　　愛知県	かりやしりつ　あさひちゅうがっこう 刈谷市立　朝日中学校

チームの戦力分析

1 投手について

小川を中心に、安達、小笠原、杉浦、猪熊と持ち味の違う投手が揃う。
投げ方を変え、打者にとって嫌な投手に成長した安達。練習試合を通して打者を打ち取る投球術を身につけた小笠原。
怪我をしたときに我慢し続け、成長を遂げた杉浦。チームが苦しいときにプレーで支えた猪熊。
そして、チームのために投げ切られるようになり、精神的に逞しくなった小川など、厳しい練習、状況を乗り越えてきた強さが武器である。

2 守備について

内野は精神的な支えとなる猪熊、声で周りを盛り上げる木村、チームの柱である田中、守備範囲の広い杉浦、俊敏さと堅実な守備が持ち味の近藤が中心となり、一つのアウトを確実にとっていく守備を目指している、外野では気持ちの強くガッツあふれる藤崎、打者の特徴をつかみ、考えて守る佐野を中心に、一球ごとに声を掛け合いチームでつながって守り抜く。守備からリズムを作るチームである。

3 攻撃について

冬を越えて著しく成長した太田、下級生ながら思い切ったバッティングをする坂本、長打力で素晴らしい可能性をもつ高橋、代打成功率の高い榊原など、様々な個性をもつ打者が揃う。そこに、３年間粘り強く努力をし続け、確実に役割を果たす川尻や、積極的な走塁が魅力の藪内など、チーム一人ひとりが役割を全うする全員攻撃を目指している。

4 チームの特徴

主将田中を中心に、チーム一つ心一つ、全員で戦ってきた。どんなときでも主将が姿でチームを支え、チーム全員で一つずつ壁を乗り越え大きく成長してきたチームである。苦しい展開でも諦めず、最後にひっくり返す力もついてきた。自分たちで考え、目の前の試合を全員で奪いにいく自立したチームとなり、最後の大会を迎える。

5 全国中学校軟式野球大会出場回数　　1 回目

6 チーム成績(練習試合を含む)　83 勝　21 敗　7 分

7 本大会までの軌跡（大会ごとに対戦相手とスコアを記入してください）

刈谷・知立　大会			西三河　地区大会			都道府県大会			ブロック大会		
回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校
１回戦	９－２	刈谷南中	１回戦	１－０	上郷中	１回戦	９－１	南山中	１回戦	６－１	鳥羽東中
準決勝	１－０	雁が音中	準々決勝	２－０	三好中	準々決勝	６－５	高師台中	準決勝	２－０	不破中
決　勝	３－０	刈谷東中	準決勝	３－０	みよし南中	準決勝	１－０	丹陽中	決　勝	２－１	みよし南中
			決　勝	０－２	刈谷東中	決　勝	６－３	みよし南中			

8 学校紹介（開会式のアナウンスの参考にさせていただきます）

今年度学校創立３０周年を迎える本校は、校訓「まごころ」のもと、当たり前のことを当たり前に行う学校を目指している。学校生活における全ての時間に価値があると考え、特に清掃活動に力を入れて取り組んでいる。時間いっぱい細かなところまで黙々と集中して清掃に取り組む無言清掃は、学校の伝統になりつつある。部活動もさかんで、朝の開門と同時に全力疾走で活動場所まで移動する姿も当たり前になっている。生徒一人ひとりの「まごころ」あふれる学校として、これからも日々進化を遂げていきたい。

9 主将の抱負

朝日中学校野球部の強みは、チーム力です。３年間厳しい練習をチーム全員で乗り越えていく中で、一人ひとりの役割を一人ひとりが感じて、考えて、動けるようになり、チームの一体感がうまれるようになりました。大会では、支えてくださる全ての方と共に、全員で目の前の試合に挑んでいきます。